



90

やふそ 屋富祖ポケットパーク

沖縄県浦添市屋富祖 | 丁目5-1

浦添市は沖縄本島の南部、東シナ海に面する人口8万人の都市で、県都那覇市に隣接することから、人口の増加は著しく急速に都市化が進んでいる。古くは琉球の王都として栄えたが、太平洋戦争においては、激しい攻防戦が行われ、過酷な戦禍を被った地域である。〔文化・観光〕浦添城跡、浦添ようどれ、浦和の塔

浦添市の「屋富祖ポケットパーク」は、地元の屋富祖子供会および子供育成会の協力、そして市内の彫刻家能勢孝二郎氏の作品の寄贈により、交差点の空地をすべて市民の手づくりで整備した。

このポケットパークは旧市街北の住宅密集地にあり、地域住民や学校帰りの児童生徒が立ち止まり語らえる場として、ひろく親しまれている。

地域住民が自分の家の庭のように親しみを感じ、整備から維持管理まですべて自分たちの手で自分たちのものとしてつくり上げた広場空間である。

